

平成21年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成21年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者数は471件となり、過去3位であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者で約35%、AIDS患者は約25%であった。
- ・国籍別、性別のHIV感染者とAIDS患者報告数をみると、日本国籍男性の割合が高く全体の約90%を占めている。
- ・推定感染経路別にみると、HIV感染者の約90%、AIDS患者の約75%が性的接触であり、同性間性的接触が多い。
- ・年齢別にみると、HIV感染者報告数は20歳代と30歳代が多く、AIDS患者報告数は、30歳代以上に多い。
- ・推定感染地域をみると国内が多い。
- ・ニューモシスティス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の半数以上を占めている。



相談・検査・療養体制

- ・平成21年、エイズ電話相談件数は、都内保健所、「東京都エイズ電話相談」全てで前年と比べ減少した。
- ・「東京都エイズ電話相談」の相談者は男性が多く、20歳代と30歳代が多い。相談内容は、感染不安や感染経路に関するものが多い。
- ・平成21年、HIV検査件数は、都内保健所、東京都南新宿検査・相談室全てで前年と比べ減少した。
- ・平成21年、都内保健所及び東京都南新宿検査・相談室のHIV検査における陽性件数、陽性率は前年と比べ減少した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成21年ではHIV感染者とAIDS患者の累積報告数の7割近くを占めている。
- ・梅毒の陽性(STS)率は男性で高く、クラミジアは女性で高い。

本「AIDS News Letter No.130(資料編)」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成21年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年度4月より八王子保健所は八王子市保健所となったが、経年比較をするため従来の都保健所に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所と東京都保健所を合わせて、都内保健所と表現した。

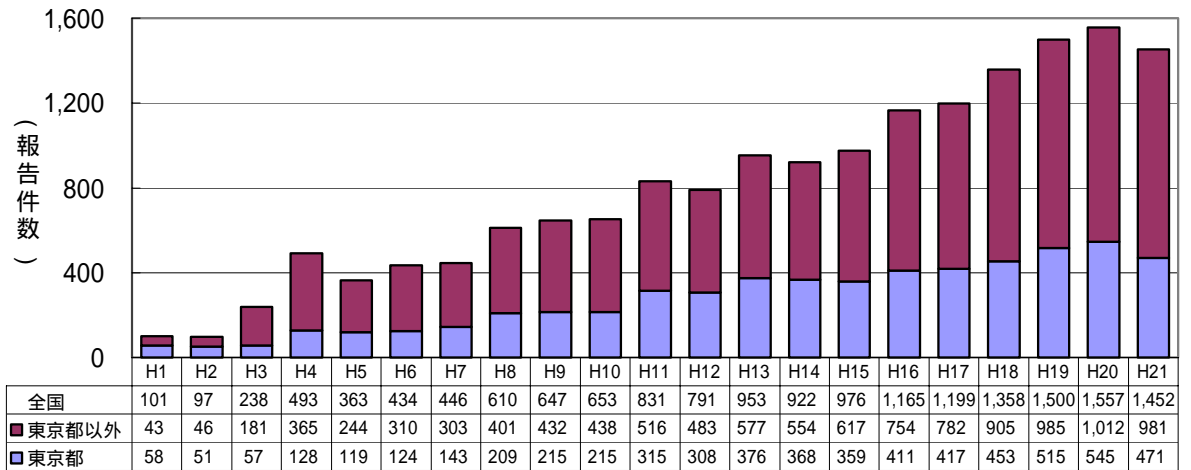
目 次

HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成21年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成21年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成21年）
相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	エイズ電話相談	東京都のエイズ電話相談件数年次推移
	2-2	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」における相談者の性別（平成21年）
	2-3	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成21年）
P.11	2-4	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」の相談内容（平成21年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成17年～平成21年）
P.13	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成21年）
世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.13	世界のHIV/AIDS流行状況2008年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2009年末現在（厚生労働省）		

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

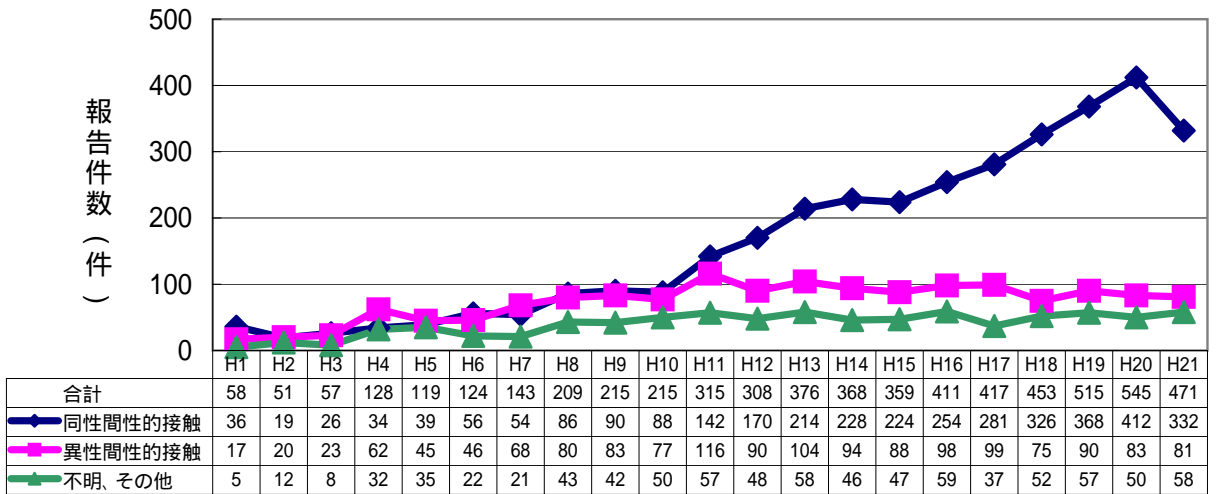
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV + AIDS)]

1-1
東京都と全国の報告数
年次推移



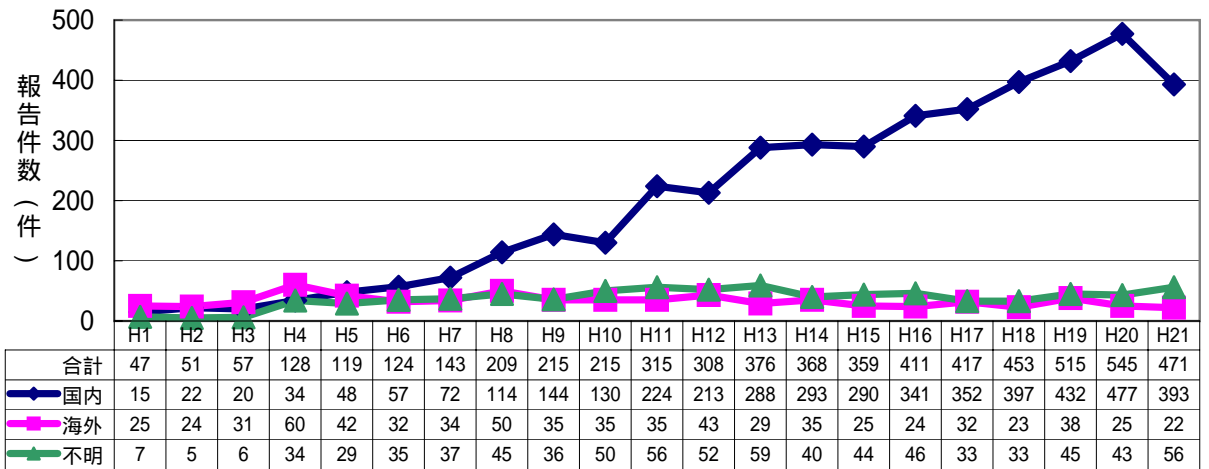
東京都、東京都以外とも前年と比べ報告件数が減少し、過去3位であった。全国で見ると、6年連続で1,000件を超えた。

1-2
東京都の推定感染経路別報告数
年次推移



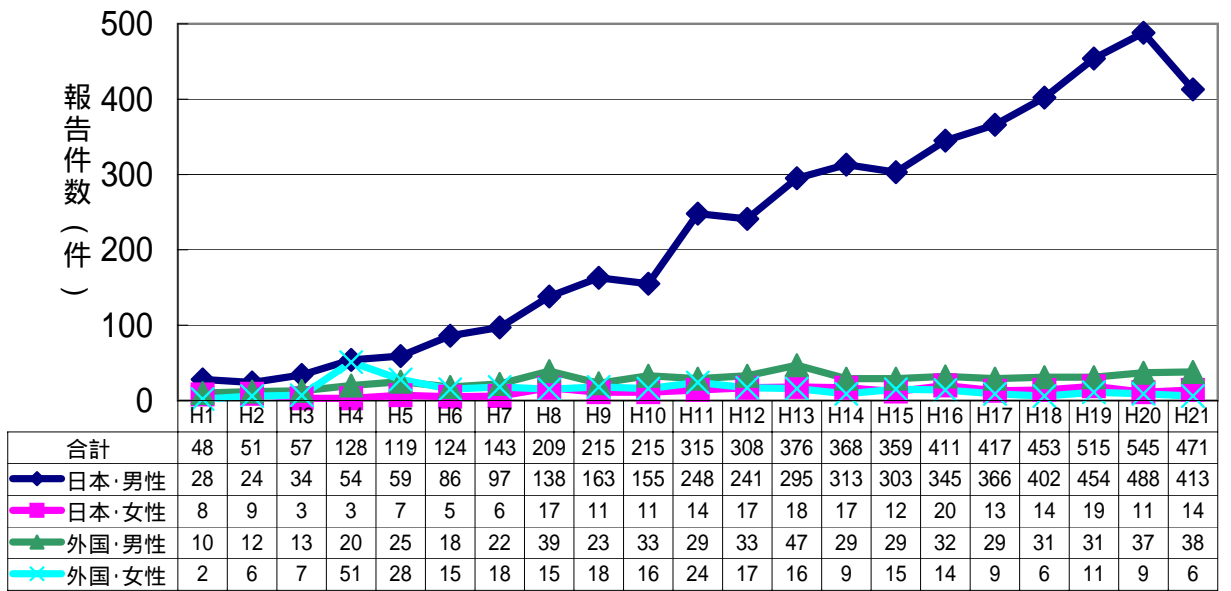
同性間性的接触による報告数は、平成16年以降年々増加していたが、平成21年は減少した。異性間性的接触は、この数年は横ばい傾向となっている。

1-3
東京都の推定感染地別報告数
年次推移



国内の推定感染地報告が、平成16年以降年々増加していたが、平成21年は減少した。海外の推定感染地報告はこの数年、横ばい傾向となっている。

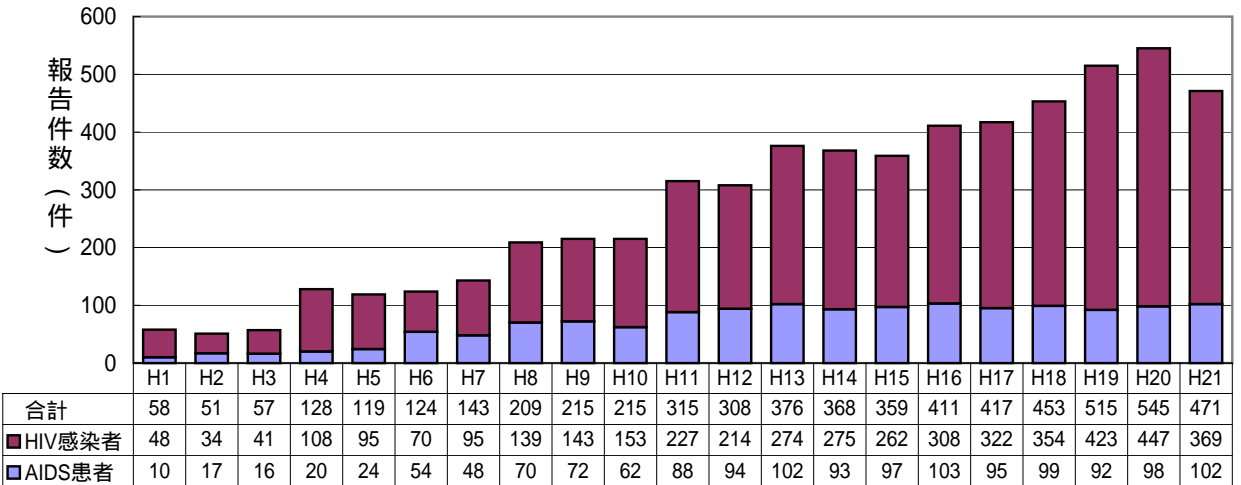
1-4
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



日本国籍男性の報告数が、平成16年以降年々増加していたが、平成21年は減少した。それ以外では、横ばい傾向となっている。

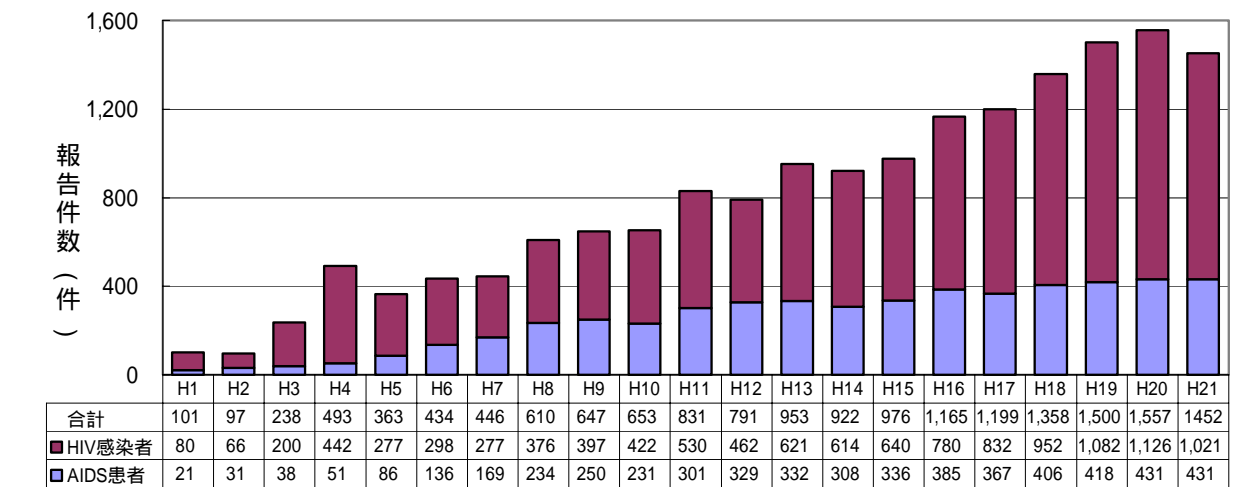
[HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS)]

1-5
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



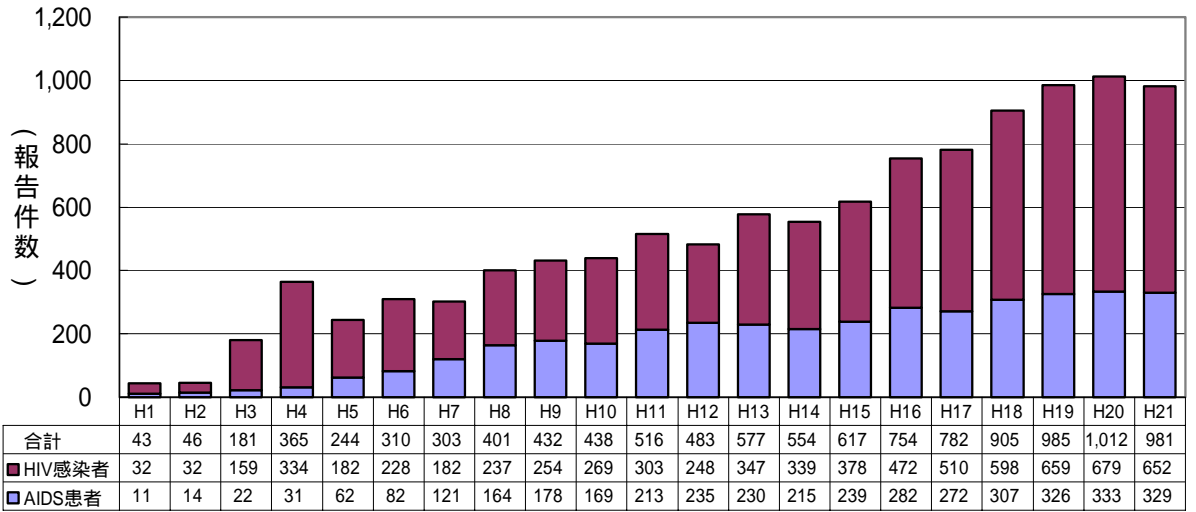
東京都におけるHIV感染者報告数は、平成16年以降年々増加していたが、平成21年は減少した。AIDS患者報告数はこの数年、横ばい傾向となっている。

1-6
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成15年以降年々増加していたが、平成21年は減少した。AIDS患者報告数は前年と同数であった。

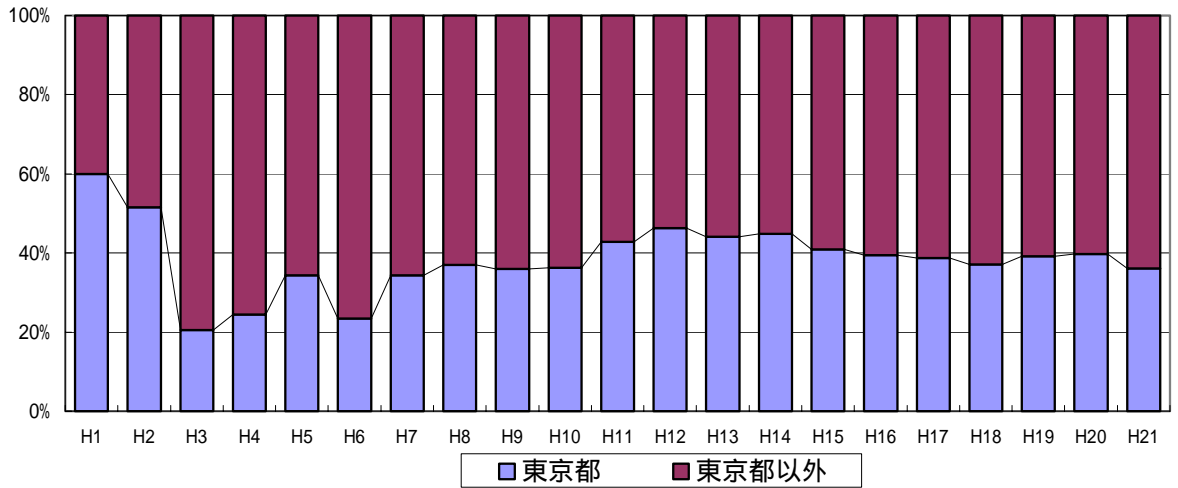
1-7
東京都以外
のHIV感染者とAIDS患者
報告数年次推移



平成21年、東京都以外においては、HIV感染者、AIDS患者報告数ともに減少した。

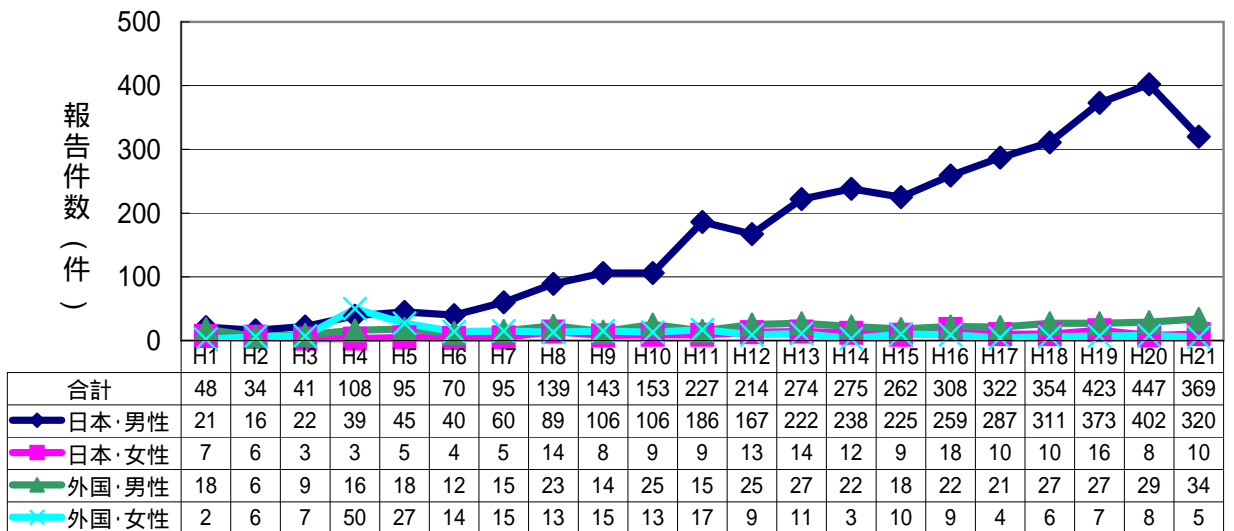
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占める
東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



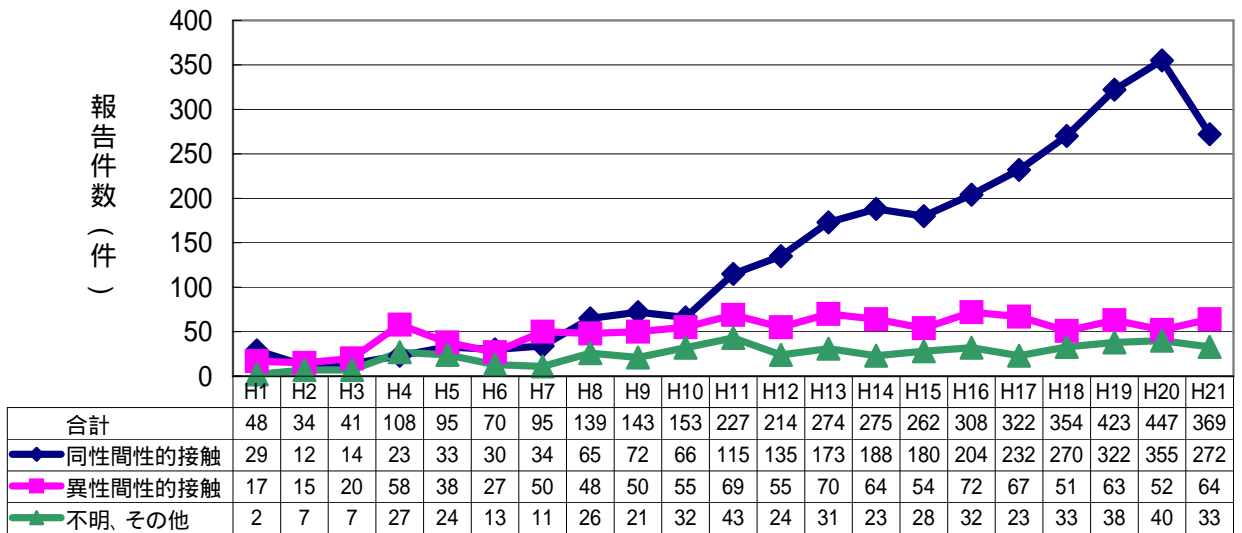
東京都のHIV感染者報告数は、近年、全国の約4割で推移している。

1-9
東京都の
HIV感染者の
国籍別・
性別報告数
年次推移



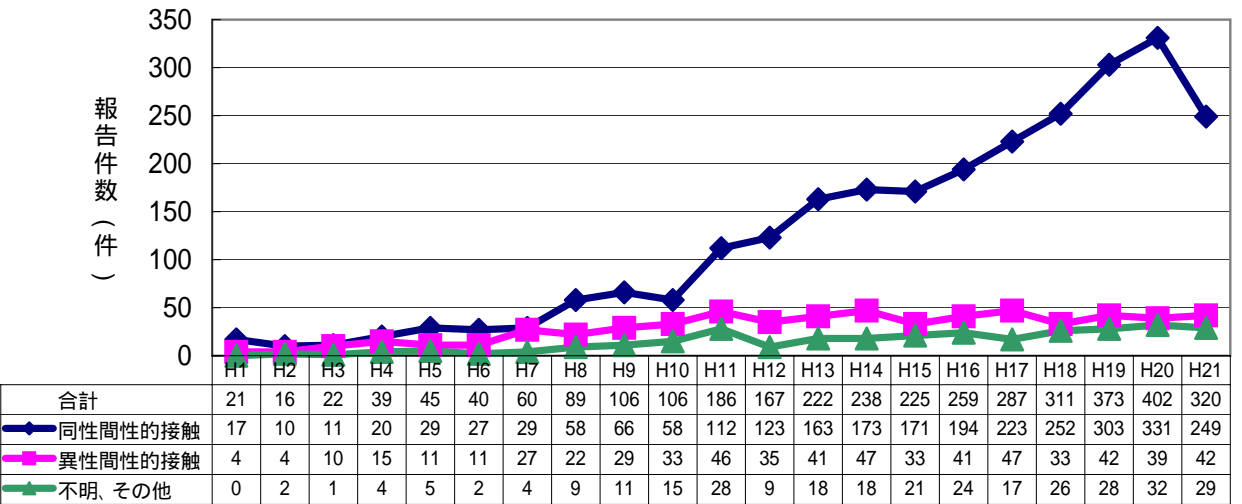
平成16年以降、日本国籍男性の報告数は増加していたが、平成21年は減少した。

1-10
東京都の
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



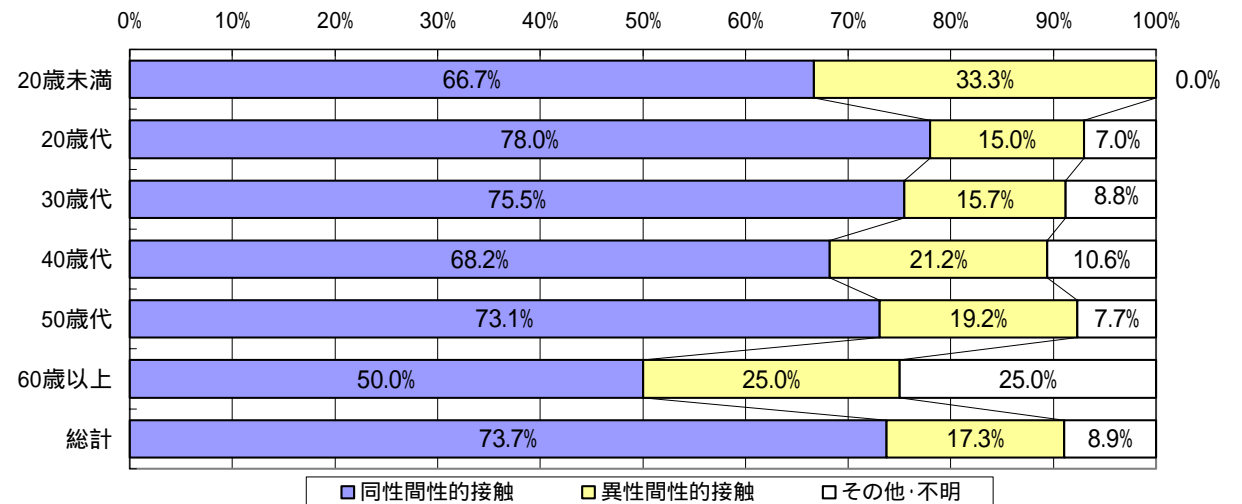
平成16年以降、同性間性的接触の報告数が増加していたが、平成21年は減少した。異性間性的接触の報告数はこの数年は横ばい傾向となっている。

1-11
東京都の日本国籍男性
における
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



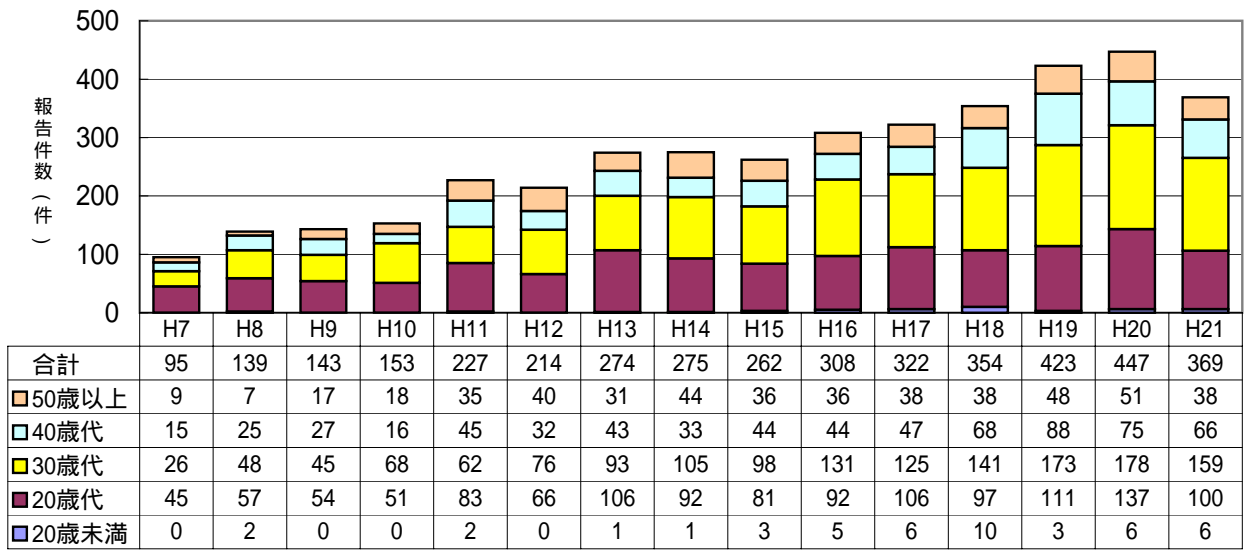
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性でみると、平成16年以降同性間性的接触の報告数が増加していたが、平成21年は減少した。一方、異性間性的接触の報告数はこの数年は横ばい傾向となっている。

1-12
東京都の
HIV感染者
の年齢別・
推定感染経
路別報告数
(平成21年)



20歳代から50歳代の各年代において、同性間性的接触による感染の割合が約7割を占めている。

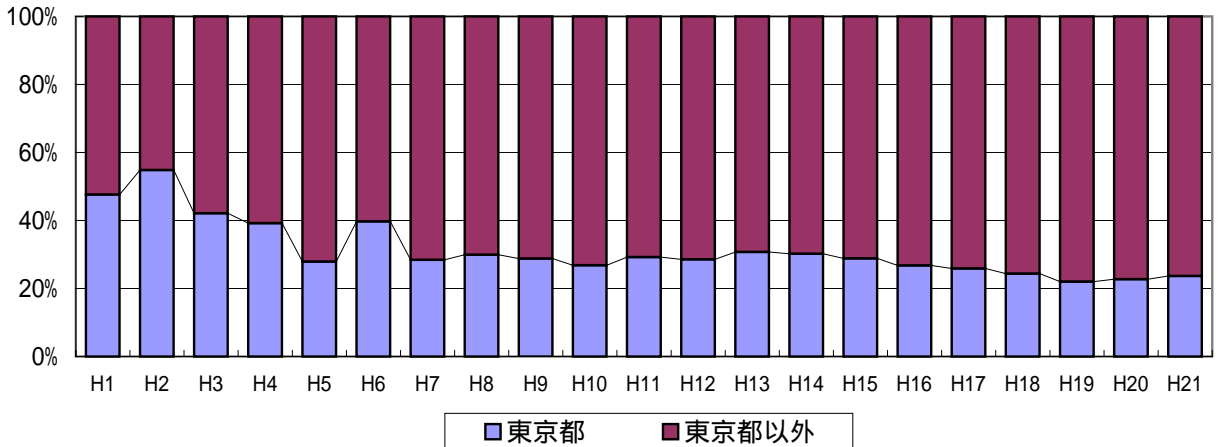
1-13
東京都の
HIV感染者
の年齢別報
告数年次推
移



平成21年は、20歳代から50歳代以上の各年代において報告件数が減少した。

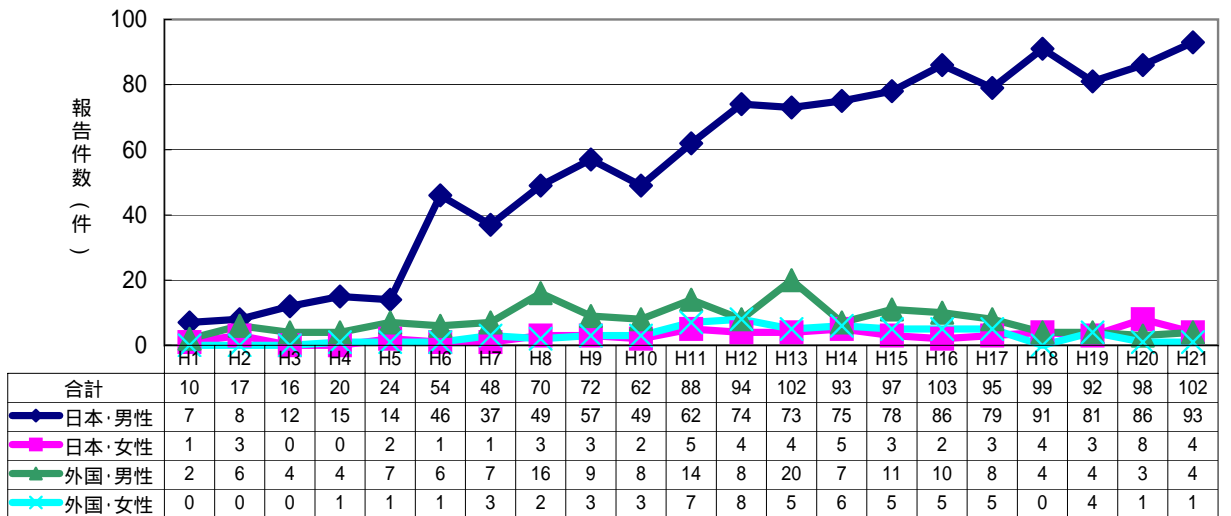
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占める
東京都の
AIDS患者報
告数割合年
次推移



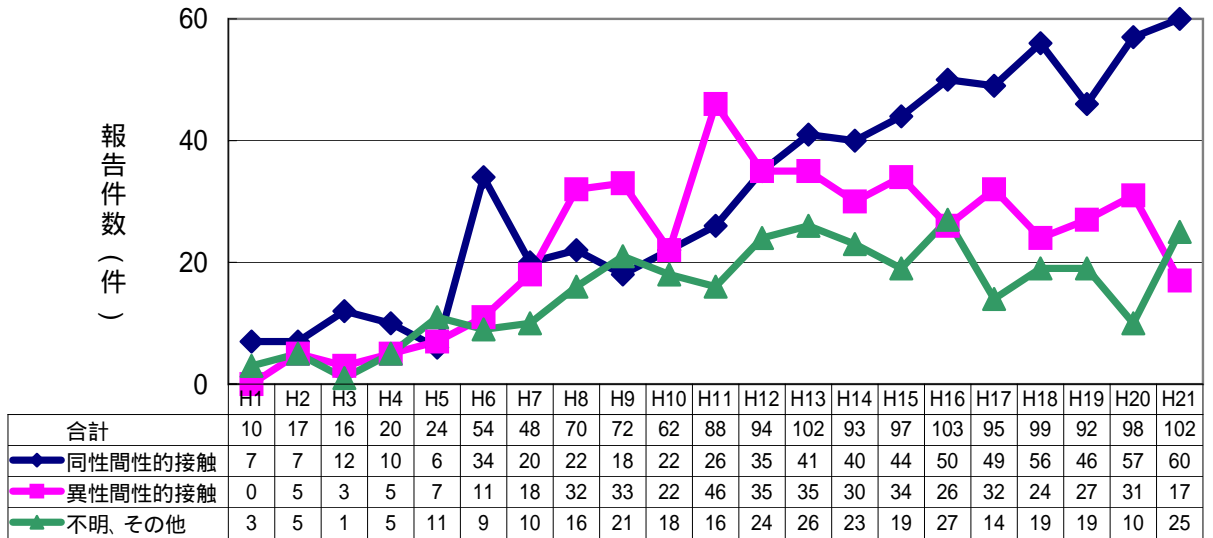
東京都のAIDS患者報告数は近年、全国の約4分の1で推移している。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



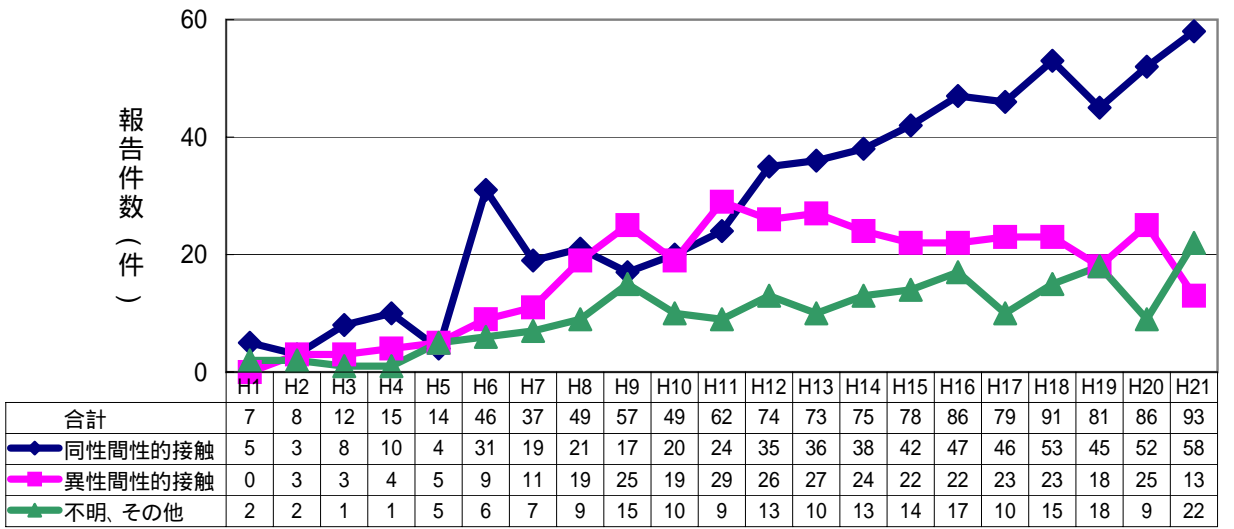
日本国籍男性の報告数は平成8年以降、増加傾向である。日本国籍女性や外国国籍では、大きな変化はない。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



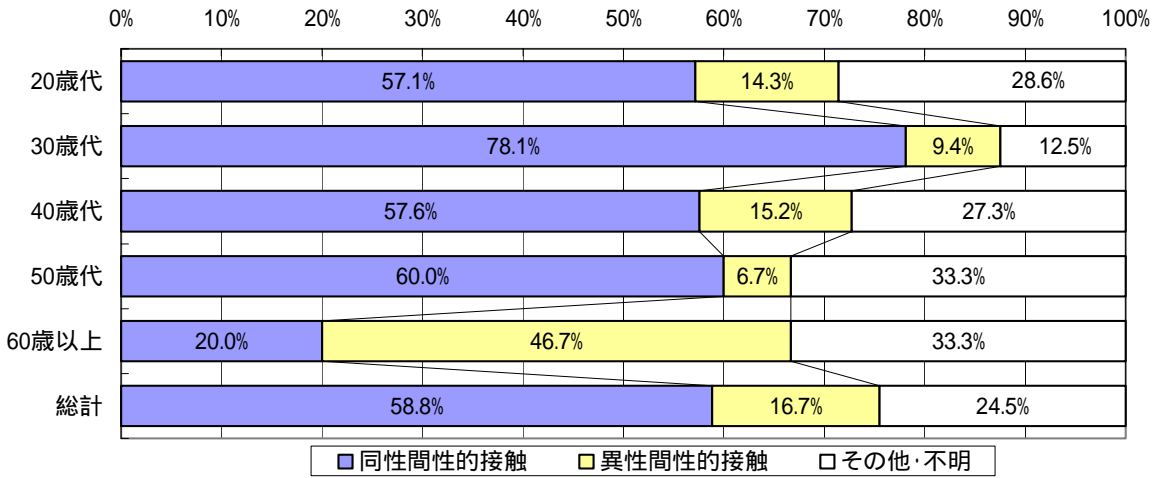
平成13年以降、同性間性的接触の報告数が、異性間性的接触の報告数を上回っている。

1-17
東京都の日本国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



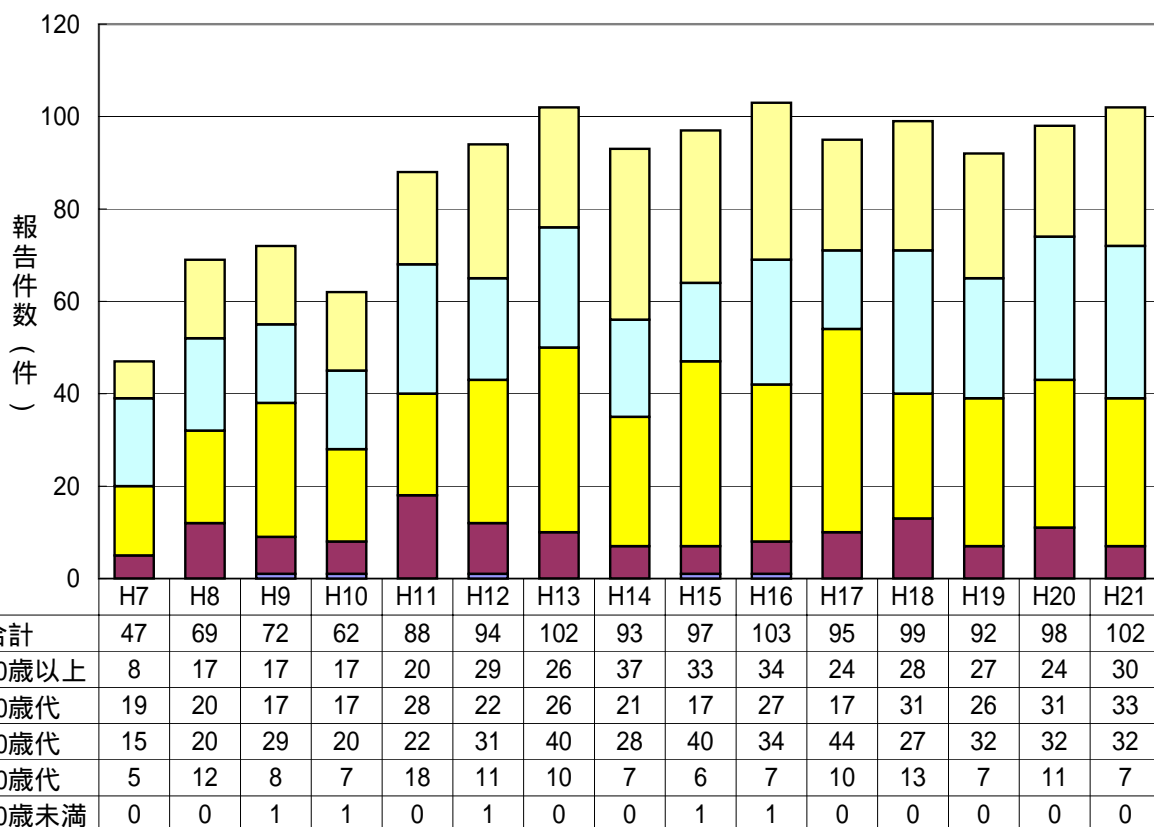
AIDS患者報告数の多い日本国籍男性でみると、平成12年以降、常に同性間性的接触の報告数が異性間性的接触の報告数を上回るようになっており、増加が顕著である。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告数
(平成21年)



60歳以上を除くすべての年代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触の割合が大きくなっている。

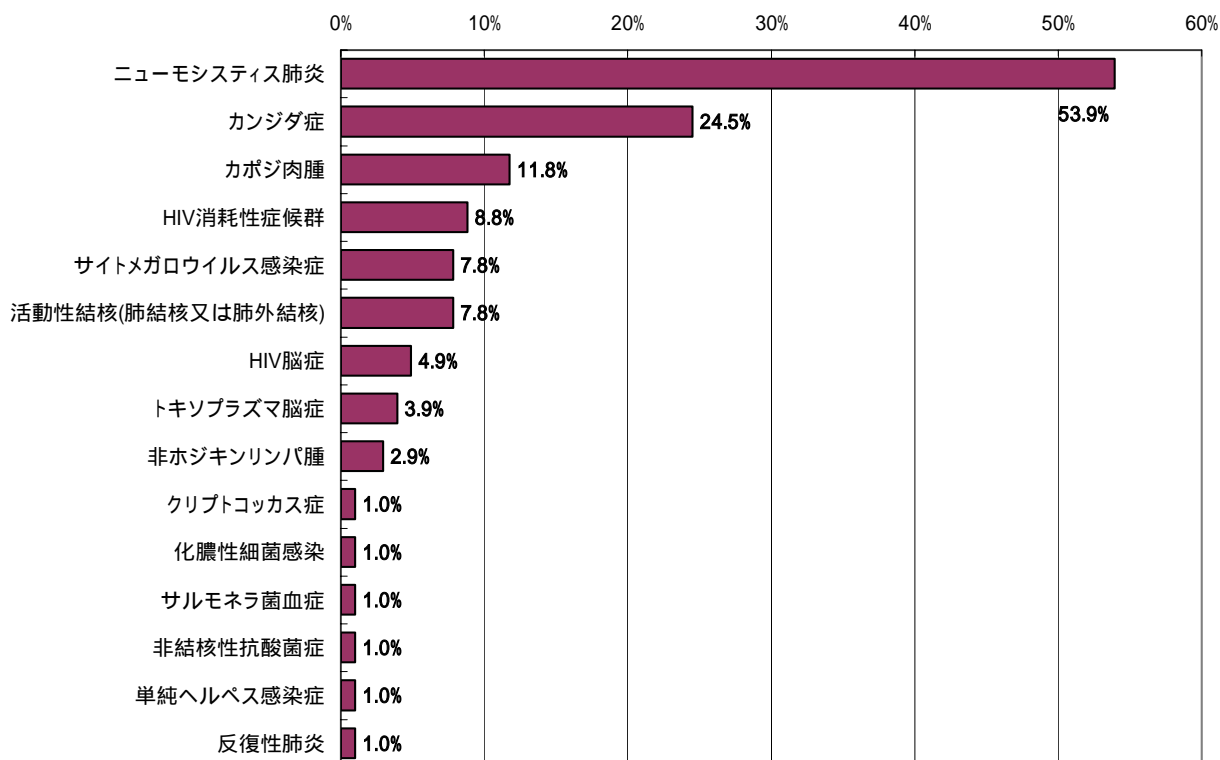
1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



30歳代以上の報告件数が多く、この傾向が続いている。

1-20
東京都の
AIDS指標疾
患 (平成21年)

* 複数回答

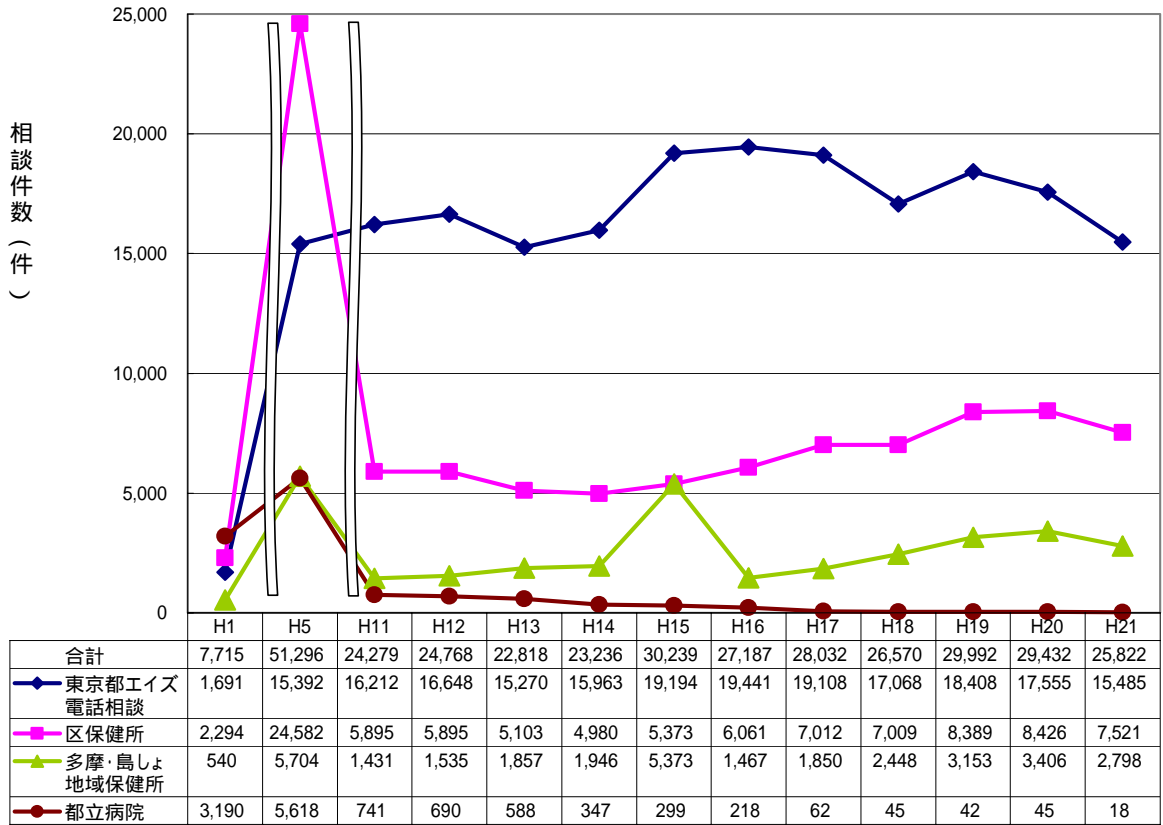


平成21年にAIDSと報告された者の5割強が、ニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いで、カンジダ症、カボジ肉腫、HIV消耗性症候群の順で診断されている。

2. 相談・検査・療養体制

[エイズ電話相談]

2-1
東京都のエイズ電話相談件数年次推移

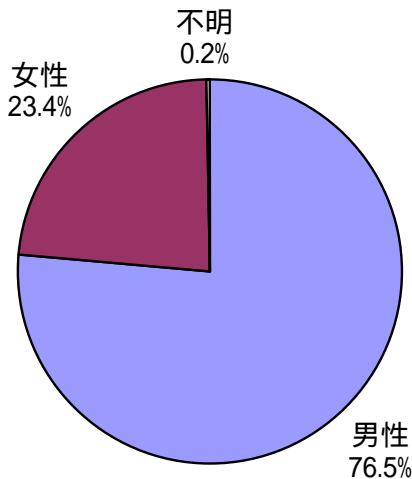


「東京都エイズ電話相談」は、平成10年度以前についてはエイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後、減少し、平成10年ごろより横ばいであった。この数年保健所での相談件数が増加傾向であったが、平成21年は新型インフルエンザの流行も背景に相談件数が減少した。

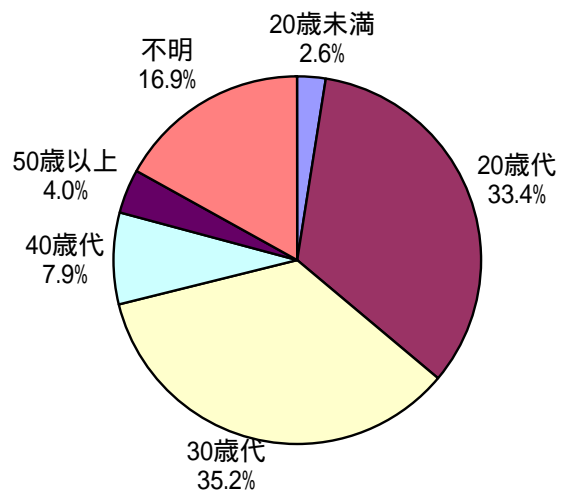
<2-2>

2-2
「東京都エイズ電話相談」における相談者の性別 (平成21年)



<2-3>

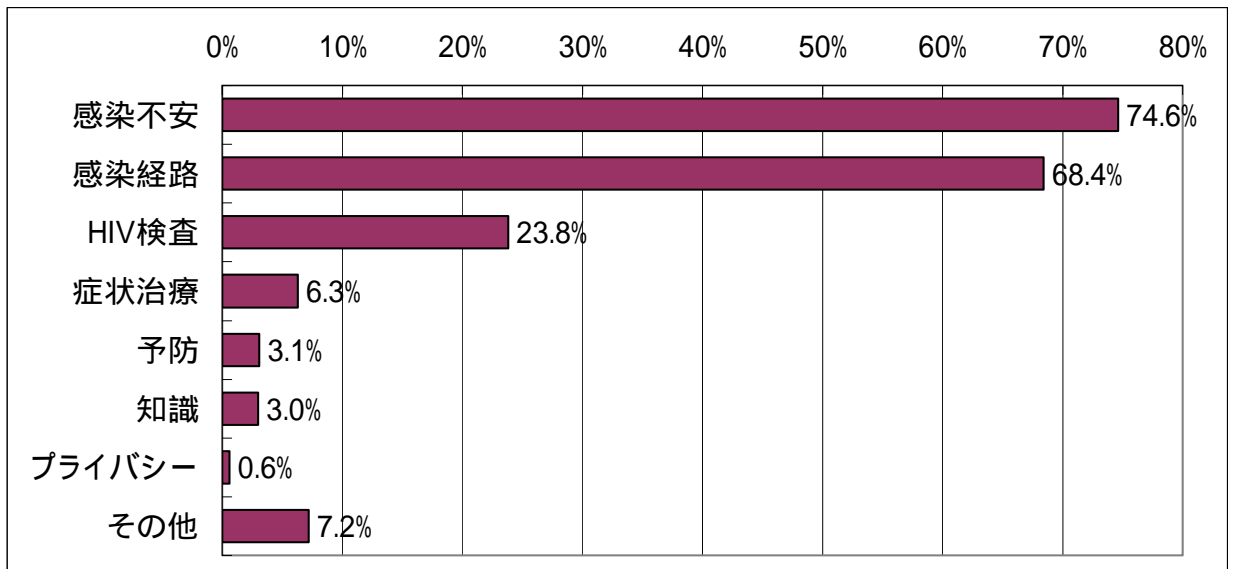
2-3
「東京都エイズ電話相談」における相談者の年齢 (平成21年)



性別については、4分の3が男性であった。年齢別に見ると20歳代・30歳代が多く、30歳代以下で7割を超える。この傾向が続いている。

2-4
「東京都エイズ電話相談」の相談内容
(平成21年)

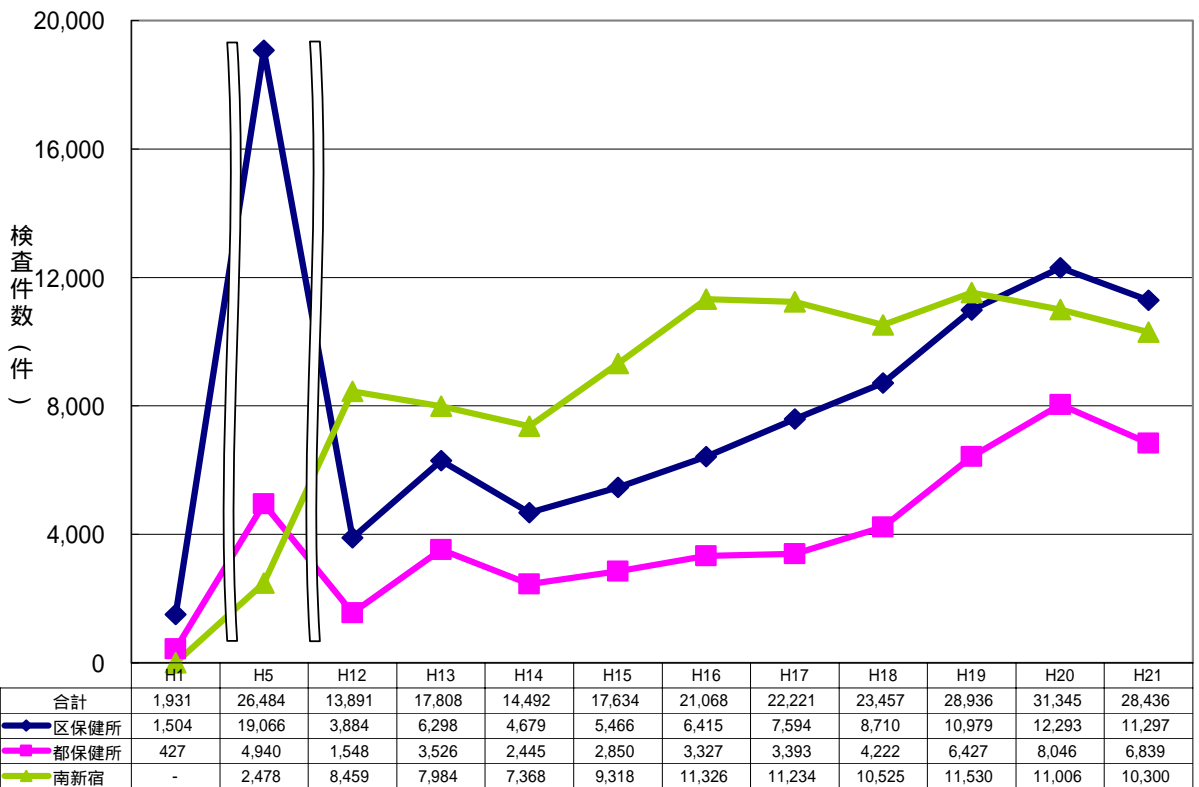
* 複数回答



東京都エイズ電話相談の相談内容は、感染不安が最も多く約75%を占め、次に感染経路が約7割であった。この傾向は続いている。なお、相談が多岐にわたり、重複する場合もある。

[HIV検査]

2-5
東京都のHIV検査件数
年次推移



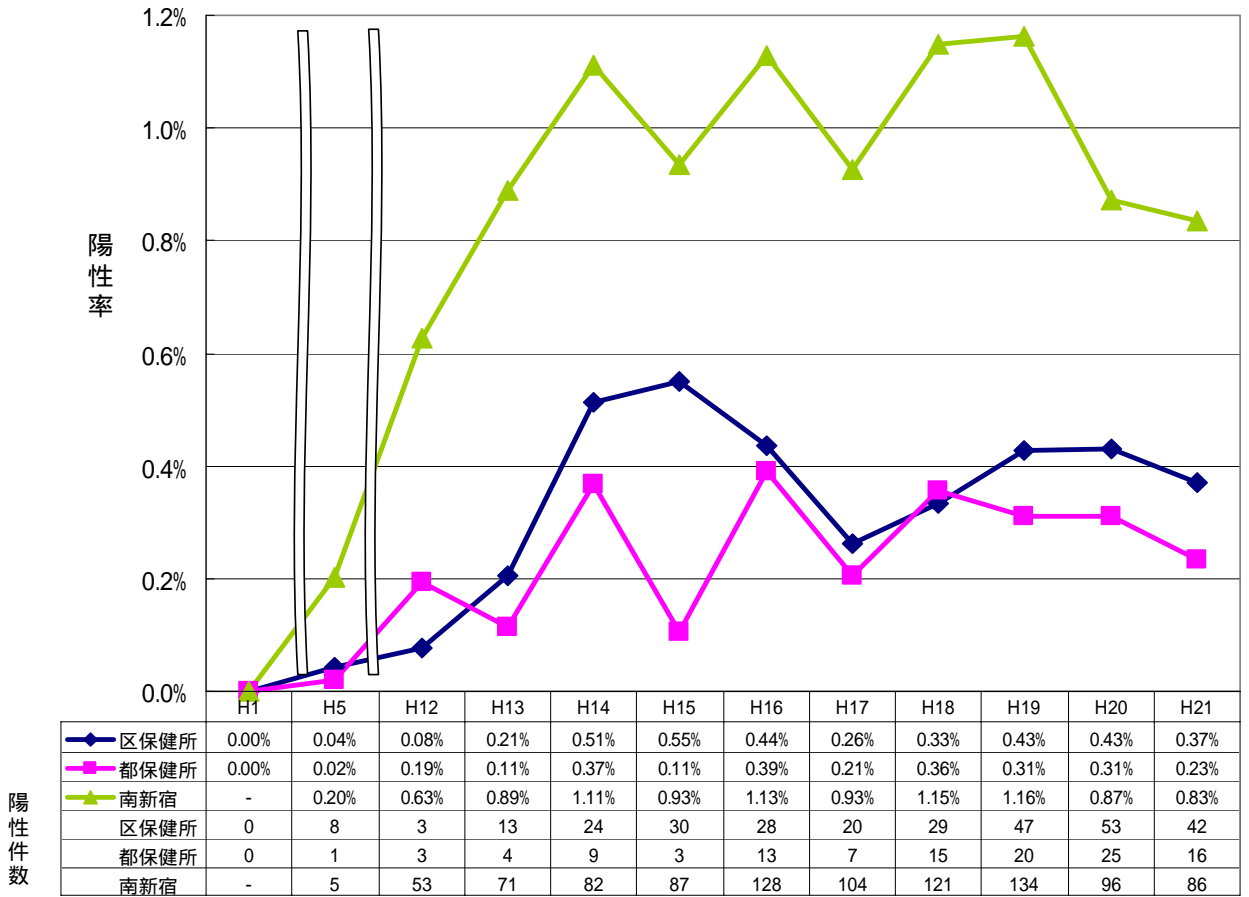
都内の保健所（区、八王子市、都の保健所）の検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後、減少した。平成10年ごろより横ばいであったが、平成15年以降増加してきた。都保健所では、多摩府中保健所での検査開始（平成19年）及び多摩地域検査・相談室の毎週実施の定着により増加していたが、平成21年は新型インフルエンザの影響もあり、前年比15%の減少であった。区保健所も、港区での委託検査開始（平成20年）をはじめ、その他保健所でも増加していたが、平成21年は前年比8%の減少であった。

南新宿検査・相談室の検査件数は平成10年ごろから横ばいであったが、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、1万1000件前後で推移している。平成21年は前年比6%の減少であった。

平成21年の検査件数合計では、前年比9%の減少であった。

なお、平成13年5月～10月に都内の保健所ではHIV検査時に希望者にC型肝炎ウイルス抗体検査を無料匿名で行ったため、平成13年の都内の保健所の検査件数は一時的に増加した。

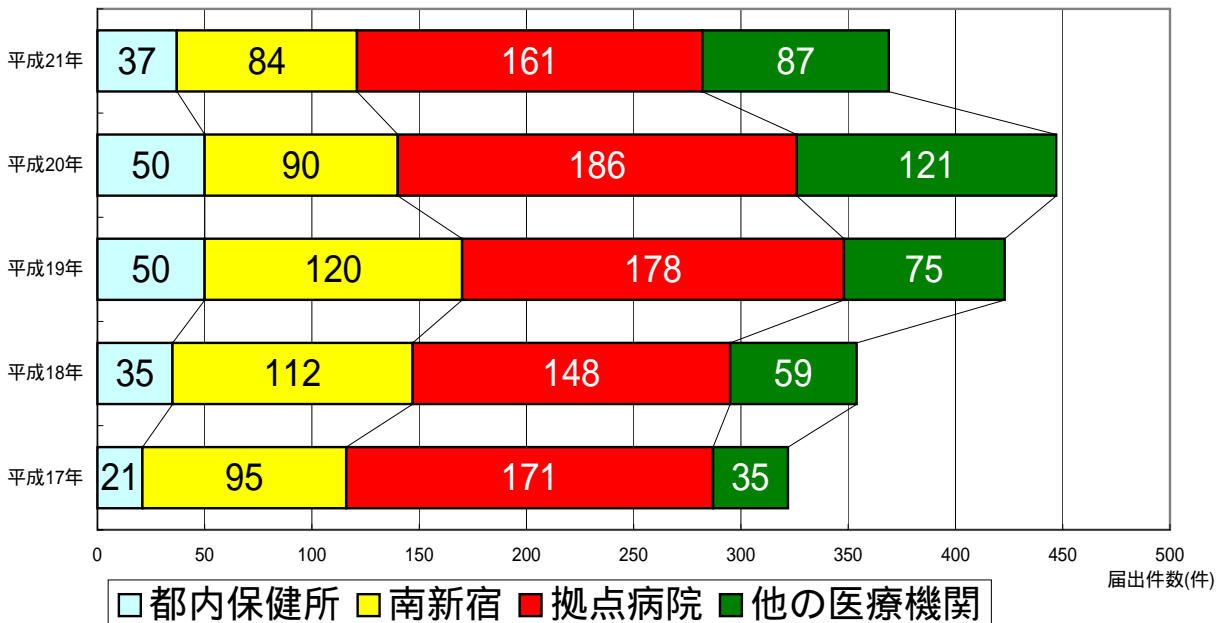
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



平成21年は、都内保健所及び南新宿検査・相談室いずれも、陽性件数、陽性率ともに、前年と比べ減少した。

[医療機関]

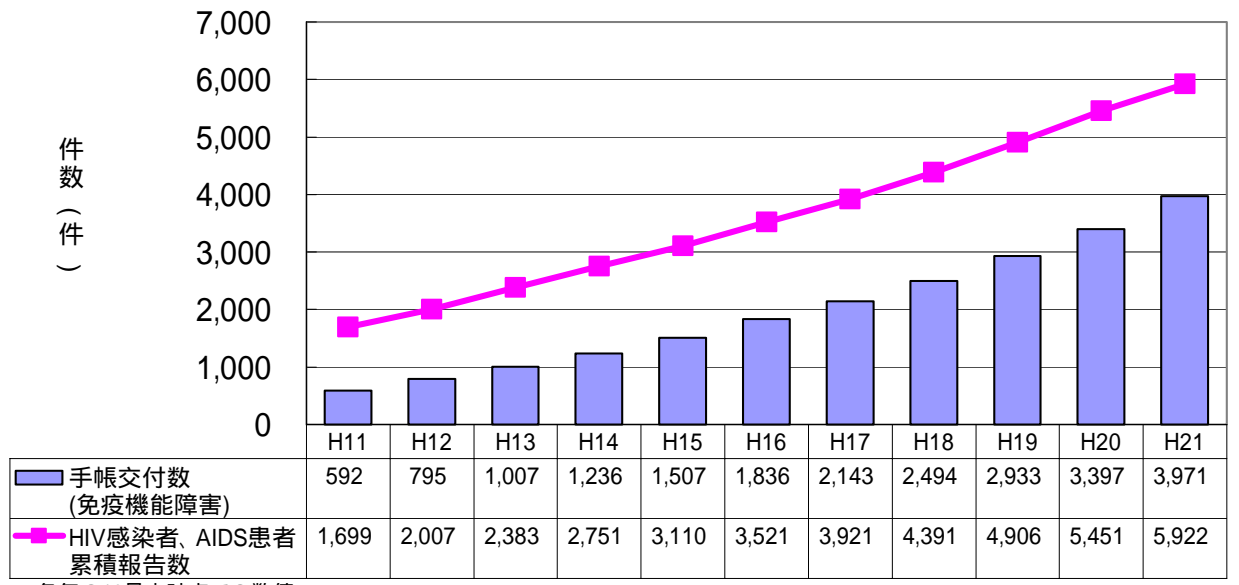
2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成17年
～平成21
年)



平成21年の特徴は、毎年増加していた届出数が減少に転じたことである。特に都内保健所および他の医療機関の届出件数が前年と比べ約3割減少した。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都の
HIV感染者、AIDS患者
累積報告数と身体障害者手帳
(免疫機能障害)交付数
年次推移



各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成21年はHIV感染者、AIDS患者累積報告数の7割近くが手帳の交付を受けている。

[性感染症検査]

2-9
東京都内の
保健所、東京都南新宿
検査・相談
室での性感染症検査件数
と陽性件数
(平成21年)

		梅毒				淋菌			
		検査数(STS)	検査数 (TPHA)	陽性数	陽性率 (STS/陽性数)	検査数	陽性数	陽性率	
区保健所	男	3,019	1,216	36	1.2%	715	1	0.1%	
	女	2,171	909	4	0.2%	543	9	1.7%	
多摩地域保健所	男	2,312	2,267	30	1.3%	1,500	7	0.5%	
	女	1,469	1,451	2	0.1%	972	15	1.5%	
南新宿	男	1,517	31	30	2.0%	-	-	-	
	女	789	2	0	0.0%	-	-	-	
		クラミジア							
		検査数	陽性数(IgA)	陽性率(IgA)	陽性数(IgG)	陽性率(IgG)			
区保健所	男	3,242	359	11.1%	621	19.2%			
	女	2,305	389	16.9%	715	31.0%			
多摩地域保健所	男	2,310	173	7.5%	454	19.7%			
	女	1,469	190	12.9%	423	28.8%			
南新宿	男	1,515	167	11.0%	263	17.4%			
	女	786	129	16.4%	249	31.7%			

平成21年の梅毒とクラミジアの陽性率は昨年と同様の傾向であるが、淋菌の女性の陽性率が年々上がっている。

3. 世界及び全国HIV感染者・AIDS患者数

世界のHIV/AIDS流行状況 2008年末現在 (UNAIDS/WHO) 日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2009年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(2008 年末現在)

合計	3,340万人 (3,110-3,580 万人)
成人	3,130万人 (2,920-3,370 万人)
女性	1,570万人 (1,420-1,720 万人)
子供(15 歳未満)	210万人 (120-290 万人)

HIV感染者報告の累計数 11,560人

AIDS患者報告の累計数 5,319人

2008 年における新規HIV 感染者数

合計	270万人 (240-300 万人)
成人	230万人 (200-250 万人)
子供(15 歳未満)	43万人 (24-61 万人)

2008 年におけるAIDS による死亡者数

合計	200万人 (170-240 万人)
成人	170万人 (140-210 万人)
子供(15 歳未満)	28万人 (15-41 万人)

推計値の右の()内の範囲に実際の数値が存在する。推計値・範囲は入手可能な最良のデータを基にして算出された。

東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査（匿名・無料・電話又は携帯からの予約制）
ホームページ <http://www.tmsks.jp>

【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金（祝日を除く）：午後3時30分から午後7時まで

土・日（祝日を除く）：午後1時から午後4時30分まで

窓口受付時間 月～金（祝日を除く）：午後3時30分から午後7時30分まで

土・日（祝日を除く）：午後1時から午後4時30分まで

聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができません。

ファクシミリ 03-3377-0821（予約受付時間は上記と同じ）

東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査（匿名・無料・予約制及び先着順）

【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金（祝日を除く）：午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日（祝日を除く）：午前10時

【先着順検査】

検査受付時間 土曜日（祝日を除く）：午前12時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906（日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで）

東京都エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

（月～金：午前9時から午後9時まで、土・日・祝日：午後2時から午後5時まで）

エイズに関する相談・検査（匿名・無料）は各保健所へ（一部性感染症検査も同時に可）

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp